

関係各所属長 様

群馬県柔道連盟
会長 鳥居 吉 二

令和4年度群馬県小学生強化選手選考会 (無観客試合)

1 日 時 令和4年5月21日(土) 9時開館 男女ともに10時30分開会式
審判・監督会議 10時(第4会議室にて)

2 場 所 ALSOKぐんま武道館 第1道場

3 主 催 群馬県柔道連盟

4 実施種別 ※各自の申込体重により各階級がおおよそ同じ出場人数になるように調整

- (1) 小学4年生男子2階級(軽量級・重量級)
- (2) 小学4年生女子2階級(軽量級・重量級)
- (3) 小学5年生男子3階級(軽量級・中量級・重量級)
- (4) 小学5年生女子2階級(軽量級・重量級)
- (5) 小学6年生男子3階級(軽量級・中量級・重量級)
- (6) 小学6年生女子2階級(軽量級・重量級)

5 参加資格

- (1) 群馬県柔道連盟を通し、全日本柔道連盟に団体登録をした団体に所属、競技者登録をした者及び登録申請中の者。大会上位入賞者などの参加人数の制限は設けない。
- (2) 選手の年齢区分は、2010年4月2日以降に生まれた小学6年生、2011年4月2日以降に生まれた小学5年生、2012年4月2日以降に生まれた小学4年生に在籍している者。
- (3) 所属長は健康に十分な配慮を行い、保護者の承諾を得ていること。
- (4) 1つの所属チームあたり、監督1名とコーチ1名が新型コロナウイルス感染症対策を講じ、引率できること。
- (5) 以下の新型コロナウイルス感染症対策を遵守できる者
 - ①観客席で空けて座る等、密閉・密接・密集の「3密」をさける。
 - ②顔に触れる前に手指衛生の徹底をする。
 - ③試合時以外のマスクの着用をする。
 - ④館内での飲食はしない。(熱中症予防や体調管理のための水分摂取やエネルギー補給は可、ただし黙食に限る)
 - ⑤別紙、健康状態申告書の提出、健康観察期間(5/7～)及び大会当日に37.0度以上の発熱があった場合は入場かつ試合に出ることはできない。

6 日 程

- (1) 男女ともに更衣室利用不可のため自宅より柔道着を着用する。(男女ともに入場・受付)
- (2) 9時に1階入口より所属ごとに監督・コーチ・選手と共に入場、手指消毒、検温を受ける。
- (3) 健康状態申告書(監督・コーチ・選手の別紙2枚を提出)を提出し、下足は各自準備したビニール袋に入れて保管する。
- (4) 第1道場で10時20分まで準備運動、柔道着コントロール等、10時30分に開会式に整列する。
- (5) 試合に敗退した選手は、速やかに帰宅する。
- (6) 各学年、各階級でベスト4に入賞した選手は、ワッペンを本部(黒田)まで取りに来る。

7 審判規定

- (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規定及び「国内における少年大会特別規定」を適用する。
- (2) 試合時間は3分間とし、原則としてトーナメント戦とする。(参加人数によってはリーグ戦)
- (3) 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」「判定」とする。
「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり)がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。1差以下であれば旗判定で勝敗を決定する。(延長戦は行わない)
(「指導」数によって勝敗が決する例=0対2) (「指導」数に差が出て判定になる例=0対1、1対2)

- 8 表 彰 1位、2位、3位（2名）の計4名を強化選手とし、強化選手ワッペンを贈呈する。表彰式は行わない。
- 9 組 合 せ 令和4年5月15日（日）13時より高崎市武道館会議室において県柔道連盟ジュニア育成強化委員で行う。
- 10 参加申込
出場選手は所定の申込用紙に必要事項を記入の上、令和4年5月12日（木）までに下記あてにEメール（手書きではなくデータ入力）と郵送（データ入力したものをプリントアウトし、押印する）の両方で申し込む。
Eメールアドレス gunmajudo@gmail.com
〒370-3524 高崎市市中泉町654-9 黒田圭一あて
- 11 参加料 1名 1,000円を第1道場入口にて納入する。
- 12 柔道衣コントロール等
(1) 開会式前に男女ともにマスク着用にて柔道衣コントロールをします。
(2) 柔道衣コントロール時に併せて髪の確認をします。襟にかからないようにまとめること。
- 13 大会中止・延期条件
群馬県教育委員会等からの要請があった場合や群馬県柔道連盟が群馬県内の感染状況に鑑みて、安全が確保できないと判断した場合。
- 14 ゼッケンについて
ゼッケンは各自で下記要領にて必ず縫い付けること。（無ければ失格とする）
(1) ゼッケンのサイズは、概ね横30cm～35cm、縦25cm～30cmとする。
(2) 縫い付け位置は後襟から約5cm～10cm下部とし、対角線にも縫い付けること。
(3) ゼッケンの表記は上部2/3に苗字、下部1/3に所属名を記載すること。
- 15 その他
(1) 各階級の3位までの入賞者4名は、群馬県小学生強化選手とする。また、各階級の入賞者の所属長（代表者）は大会終了後に以下のLINEのQRコードを読み取り、群馬県柔道連盟強化部長黒田（Keiichi Kuroda）まで友だち追加登録をする。
(2) 主催者は、選考会中の不慮の負傷・疾病について応急処置を施すとともに傷害保険の範囲内の責任を負うものとする。
(3) 万が一の事故の発生に備え、参加選手独自で傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
(4) 脳振盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
(a) 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
(b) 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、脳神経外科の専門医の精査を受けること。
(c) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
(d) 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
(5) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
(6) 問い合わせ先：群馬県柔道連盟強化部長 黒田圭一 090-3098-6302

LINE

